

新年のごあいさつ

秩父市長 久喜 邦康

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、新春を穏やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、本年は5月に平成から新元号に変わる節目の年となります。私も気持ちを新たに、「日本一しあわせな、光り輝く秩父市」を創造してまいり、特に、以下の3点を最重要事項として、誠心誠意、市政の舵取りをしてまいります。

1点目に、光り輝く秩父市の将来を描いていくためには、上下水道をはじめとしたインフラの整備に注力していくことが肝要です。特に、旧秩父セメント第一工場跡地内の新設道路整備を進め、企業誘致をさらに進めるほか、市民や観光客の皆さまが楽しめるよう商業施設も充実してまいります。また関連して道の駅ちちぶの整備も進めてまいります。

2点目に、昨年4月に市が出資して設立した「秩父新電力株式会社」では、秩父地域で作られた再生可能エネルギーの地産地消を目指し、この春から、公共施設に電力供給を開始します。順次、企業、一般家庭への電力供給を進め、電気使用料金として秩父市から流出していたお金を地域内で循環させることで、地域経済の活性化を目指してまいります。

3点目に、秩父地域1市4町の枠組みで森林の整備を行うとともに、荒川下流域の自治体に、秩父産木材の利用促進、秩父市の森林整備費の支援を働きかけ実現することで、荒川下流域の森林環境譲与税を秩父市に還流させるしくみを構築してまいります。

子どもたちの希望に満ちた声がこぼれ、住んでいる人も訪れる人も楽しく、健康で暮らせる「日本一しあわせな、光り輝く秩父市」となるよう、本年も、市政に対する変わらぬご理解、ご協力を賜りますとともに、市民の皆さまにとつて輝かしい年となりますことを心からお祈りいたします。年頭に当たってのごあいさつといたします。